

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

Rotary 



2016～2017年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 新見 和男	第2488例会	2016/10/ 3
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 渋谷 廣慶	発 行 日	2016/10/17
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 平岡 健太	会 報 当 番	兒玉 龍治

会長あいさつ

会長 新見 和男

皆様こんにちは。先週は割烹旅館「東山」での研修会そして夜間例会に多数のご参加を頂きました。

楽しい期間と親睦がはかられたのではと思います。各委員会の方、大変お疲れ様でした。

さて、今日は10月3日「光陰矢の如し」と申しますが月日の経つのは早いものであと3カ月で今年も終わります。

最近はずっかり秋らしくなり、朝晩は寒さすら感じる様になりましたが、日中は30°C近くに気温が上昇する日もまだまだ寒暖の差が激しい日々ですね。お出掛けの時の服装の選び方も迷ってしまいますね。

さて、食欲の秋に水を差すようですが「太らない魔法の時間帯」があるらしいですね。食事時間のベストは朝7時、昼正午、夜6時だそうです。

そして最適の食事量は、朝5、昼4、夜1のバランスだそうです。

減量の為朝食を抜く人がいますが、どうやら逆効果みたいですよ。結局は朝食べなかつた分を昼食、夕食でまとめ食いしてしまうからです。

特に夜8時から午前2時頃までに食べると「完璧に太りますよ」という魔の時間帯だそうです。気を付けて下さい。

さて、本日の卓話は地区米山記念奨学増進委員長金杉 豊様、米山記念奨学生の謝 振宇（シャ シン ユウ）君にお越し頂きました。

財団100周年記念ゴルフコンペに参加頂きました中村、福田、田口、大楽、各会員お疲れ様でした。



お客様ご紹介 高橋秀樹 会長エレクト

第2770地区米山記念奨学部門

米山記念奨学増進委員会 委員長 金杉 豊 様
同地区米山記念奨学生

謝 振宇（シャ シン ユウ）様（草加松原RC）
第2750地区東京中央ロータリークラブ 北崎 隆 様

お客様ご挨拶

第2770地区米山記念奨学部門
米山記念奨学増進委員会
委員長 金杉 豊 様（八潮RC）



—配布資料より—

米山奨学事業の意義

1999年より米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へと転換し人物の優秀性を重視しています。将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成すること。これは、ロータリーの目指す『平和と国際理解の推進』そのものです。

■米山の寄付金

普通寄付・・・日本のロータリアンからクラブを通じて定期的にする寄付。各クラブで決定した金額×会員数分を半期ごとに分けて送金しています。当地区では、現在年間、一人5,000円と決まっています。

特別寄付・・・個人、法人、クラブから普通寄付以外に任意で行う寄付。金額には決まりはありません。ロータリアン以外でもOKです。

※現在は普通寄付も、特別寄付と同様に税制優遇がうけられるようになりました。

親睦と奉仕そして人づくり

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



2770地区の寄付実績と受入れ奨学生の人数

※各地区の採用奨学生の人数は、3年前の各地区の寄付実績に応じて割り当てられます。

2017～18年度 奨学生 34名

幹事報告

幹事 渋谷廣慶



1. 本日、例会前に開催されました理事役員会の議題から一部お知らせします。
 - ・10月20日までに、次期地区役員を推薦する事が要請されています。これに対してクラブの次期役員選考が後手に廻っているのが現状です。本日夜の長期計画委員会では是正する方向性が出されると思います。
2. 11月7日の例会予定に、クラブ協議会を加えました。
3. 先週の東山例会を皮切りに、今期は移動例会が多く予定されています。本日の理事会に於いて、今期の移動例会については出欠を問わない事が承認されました。

以上です。

委員長報告

社会奉仕委員会 吉田奉行 委員長



- 10/1～ソニックシティビル2F南側正面玄関にピンクリボンツリー、日本生命さんから寄贈のピンクリボンイルミネーションを設置いたしました。是非ご覧ください。
- 10/9(日)ピンクリボン運動出席の方は20:00からの打上について出欠を10/5(水)迄に事務局に報告願います。
- 社会奉仕委員会の今後の奉仕事業スケジュール。
 - 10/31(月)16:00～
大宮ろう学園夜間照明点灯式移動例会。
 - 3/25(土)18:00～
鉄道博物館ナイトミュージアム移動例会。

親睦委員会 藤嶋剛史 委員長



先日の新会員歓迎会、多数ご出席頂きありがと

うございました。当日案内状をお渡しできなかった方もいらっしゃると思いますので、再度親睦旅行のご案内をさせていただきます。ドラマ「真田丸」めぐりから、軽井沢のホテルで生演奏つきディナー、翌日は富岡製糸場のCG映像ガイドツアー、親睦ゴルフコンペなど盛りだくさんの内容です。

皆様のご参加、何卒よろしくお願いいたします。

ロータリー財団委員会 井上勝美 委員長



- 2018～2019年度派遣 ロータリー財団奨学生募集致します。
資格条件パンフレットご参照ください。
- ロータリーフェスタ2016開催致します。
10月30日(日)10時～17時
浦和駅東口 PARCO前市民広場

シスタークラブ委員会 新城盛辛 副委員長



11/14(月)南投ロータリークラブ公式訪問夜間例会について。

第2770地区職業奉仕部門 清水恒信 委員長



来る10月21日(金)に行われる職業奉仕セミナーについて少々コメントをさせていただきます。

9月30日が締切りでありますので既に41名のご登録を頂きました。

当初、当クラブより50名前後のお席を用意致しました。地区の申し込みの推移を考えますとあと5名程枠がございます。

入会4、5年の会員の皆様にあらためてお誘いをさせていただきます。と申しますにはご承知の通りロータリークラブへ入会致しますといくつかのメリットがあります。メリットと言いますとおこがましいのですが得になる事と言うのも変ですが友人が増えると仕事の情報が得られるとかがある訳ですが私が入会35年を経て一番感じることは個人の修養です。

10月21日ご用無きの欠席の方、もしくは未だ申込みなされていない方、どうぞ自分への投資を是非お願い申し上げます。

ゲスト卓話

米山記念奨学生 謝 様の卓話は、別紙印刷とさせていただきます。



誕生祝 10月生まれ



親睦委員会
藤嶋剛史 委員長

吉田暎二(6日)、大谷義武(6日)、伊田雄二郎(12日)、名苗このみ(18日)、矢尾喜三郎(25日)、望月 諭(27日)、各会員。



代表して名苗このみ会員から
ご挨拶いただきました。



財団100周年・地区大会記念 ポリオ撲滅チャリティゴルフ 参加報告

福田和子 会員

10月3日(月) 地区大会記念ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会に4名参加してきました。

大根根カントリークラブに323名での盛大なコンペで雨模様の中でしたが、大楽会員が、見事飛び賞を獲得!

中村雅之会員、田口修身会員、お疲れ様でした。

RLIパートII報告

第2770地区RLI運営委員会
新井清太 委員長

9月24日(土)に越谷市中央市民会館に於き

まして、今年度RLIパートIIが開催されました。今回は高橋エレクト、福田さん、島村さん、村松さんの4名が参加しました。

当日は生憎の雨模様でしたが、他地区の方を含め72名が受講されました。

高橋エレクトはパートII修了をもって卒業となりました。

次回パートIIIは12月17日(土)の開催ですので、宜しくお願いします。



高橋秀樹 会員(右)



福田和子 会員



島村まり子 会員



村松宏呂子 会員

ゲスト卓話

地区米山記念奨学生
謝 振 宇 (シャ シン ユウ) 様
(埼玉大学学生・草加松原RC)



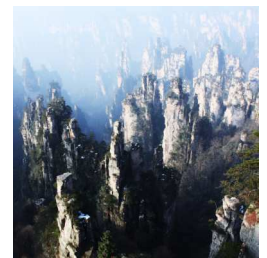
1. はじめに

皆さん、はじめまして。米山記念奨学生の謝振宇と申します。謝は感謝の謝、振は振動の振、宇は宇宙の宇です。宇宙を震わすほどの男になりなさいと両親が名づけてくれました。私の好きな名前です。本日は皆さんとお会い出来とてもうれしいです。私の出身は中国の湖南省です。四川省の隣の省ということもあって辛いものばかり食べてるところです。日頃から家で唐辛子の栽培をするのが私の趣味です。両親はともに大学で教師をしております。父の仕事で中学校の頃、「遊びに来なよ」と誘われ、日本に観光しに参りました。そのまま10数年程観光しております。現在は草加松原RCに所属しており、カウンセラーは大塚さんという方です。クラブの皆さんはいつも私が緊張しないように冗談交じりで話しかけてくれて、とてもアットホームな感じがする場所です。そして、私自身は昨年からは埼玉大学理工学研究科・環境システム専攻に進学して、現在は高齢者事故を減らすための研究を行っております。



2. 日本での生活と留学生活の感想

私が日本に来たのは2001年の11月でアメリカの同時多発テロの後でした。少しして小学校に入りました。日本に来る前までは中国で社交ダンスを習っていたこともあり、初登校で皆の前で踊ることになったのです。ただ、社交ダンスは二人で一緒に踊るから綺麗なものであって、一人では何をしているのか全然伝わらないんです。なので皆がシーンと表情を変えずに見つめている中一人でステップを踏み続けました。あの時すごく恥ずかしかったのを今でもはっきりと覚えています。



そして、私が日本に来て半年後には父は仕事の都合上中国へ帰り、私と母二人が日本で暮らしが始めました。ですが、父からの仕送りだけでは生活することができず、母は毎日深夜の4時までクリーニング屋さんで働き、朝また大学へ行って研究を行う日々をしていました。同じ家に住みながらも会話すらできない生活が続いていました。そんな時に良く助けてくれたのが母の指導教師である埼玉大学の山田興治教授でした。山田教授もロータリアンであり、毎月自分の給料から私と母を援助してくれました。また、父と会えない私に多くの事を教えてくれました。その山田教授を通して、母も米山奨学生となり、生活が断然楽になりました。今でも母がスピーチコンテストで優勝した時、嬉しそうにメダルを見せてくれた事が忘れられません。ですので、私自身も今回米山奨学生となり、あの時に支援して下さった皆さんと会えて本当にうれしいです。

3. 大学での研究内容

そうした生活を送りながら、大学2年生の時に私は10年ぶりに中国へ帰国しまして、あまりにももの変化にびっくりしました。というのも、どこもかしこも広い道路とビルが立ち並んでいて、道路事情で言うなら日本よりよっぽど快適なように感じました。しかし、そこで何週間も生活してみると、環境汚染や渋滞、そして様々な交通問題が見えてきました。そうして、日本にいる間にそれらの問題を解決できるような実力をつけたいと思い、今の研究室へ入りました。では、研究室で具体的にどういった研究をしているかといいますと、学部時代ではシェアードスペースについて取り組みました。わかりやすく説明しますと、まず、一般的な道路では車道と歩道が分離されており、道路上に柵や標識、信号などがあります。一方で、シェアードスペースではそれらが撤去され、人々は車と同じ空間内を歩くようになります。道路上に人が存在することによって、車側が注意し、自らスピードを落とすことを狙っています。実際に、ヨーロッパでは広く普及していて、私が研究で調査したところ日本において

もかなりの効果はあるとわかりました。ただし、日本では道路交通法の規則が厳しく、本格的な導入は難しいということがわかりました。その上、指導教授の久保田先生はかなりのお酒好きで、将来は酔っ払っても事故にならない道路を作りたいとのことで、この研究は一旦中止することになりました。そして、大学院に入り、今度のもっと人側に注目したいと考え、高齢者の身体機能を高めるための運動を考案して普及させていこうと考えています。今後はますます研究者としての素養を磨き、社会に貢献できるような人材になれるよう、努力して参ります。そして将来は、尊敬する山田教授のように支援する側となって恩返しをさせていただきたいと思っております。



ロンドンのExhibition Road

4. 米山奨学生になってからどのように変わったか

米山奨学生となってからのこの半年間を振り返ってみますと、まず経済面での心配がなくなったことが自分にとって大きな助けとなりました。それに伴い私のお金に対する意識も変わりました。これまで自分で稼いだお金と違い、この奨学金は全国のロータリアンが寄付して私に与えてくれたものなので、その使いみちをよく考えなくてはという気持ちが湧き上がりました。そこで、4月からは家計簿を毎日記入し、無駄使いがないように心がけてきました。また、毎月一定額を貯金し、来年からの博士課程での学費や生活費に当てたいと考えています。今はロータリアンの皆さんのおかげで、無事に修士課程や博士課程を卒業できると確信しています。

また、日本での生活が長く、自分でも留学生という意識がなくなってきたのですが、国籍も、夢も、価値観も、日本に対する考え方もバラバラな奨学生たちと出会って、その中で、ロータリークラブについて話し、留学生活や夢について話し、互いの共通点と相違点を分かち合いながら、もう一度、自分自身を振り返ることができ、自分が何のために日本にいるのかを意識させられました。そういう違うところだらけの人たちが米山奨学生というきっかけを通して一つになって様々な奉仕がする。これがまさにロータリークラブならではの思いでした。

そして、米山奨学生のメインは例会におけるロータリアンとの交流です。これほどいい経験はというのは私の人生においては初めてです。ロータリアンの皆さんは私にとっては人生の大先輩であり、一人ひとりが立派な事業の持ち主であることから、人生における大切な知恵を学ぶことができます。そして、何より、ロータリーについても学ぶことができます。ロータリアンとの分かち合いの中から、ロータリーの奉仕理念は「寛容と慈愛と忍耐」であり、他人への思いやりの心、助け合いの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心だということを知りました。本当に美しい活動だなとも思うようになりました。実際に、米山奨学生たちと障害者施設や老人ホームでの奉仕活動に参加してみたところ、「情けは人のためならず」という言葉があるように、奉仕というものは相手のためだけでなく、自分のためにもなると気づかされました。奉仕中に温かい手で握ってくれたこと、美味しい御飯と一緒に食べたこと、手を振ってお別れしてくれたこと、すべては大切な記憶です。

5. 最後に

最後になりますが、本日は何者でもない私を、このような場で卓話ができるように、招待していただき、また、皆さんがそれを聞いてくださることに対して心から感謝を申し上げます。そして、私をここまで育て、中国から支えつづけてくれる両親と日頃、大学での研究や生活を助けてくださり、推薦書を書いていただいた小嶋文先生に深く感謝いたします。米山奨学生の時間も残りの半年となりましたけれども、これからも自分の目標を実現するため、人として更に成長するために、日々努力して行きます。

以上を持ちまして、私の卓話を終わりにさせていただきます。

ありがとうございました。